

**テレビ東京系列報道番組「ワールドビジネスサテライト」の
特集企画において、先進的な配信技術として
多拠点・多店舗配信ソリューション SkeedDelivery™を紹介**

大容量高速ファイル転送ソリューションや分散コンピューティングとネットワーク制御技術を活用した大容量コンテンツ配信プラットフォームなど、独自のネットワークソリューションを開発・販売する株式会社S k e e d（スキード）（本社：東京都目黒区、代表取締役社長 CEO：明石 昌也、以下S k e e d）が開発した多拠点・多店舗配信ソリューション SkeedDelivery™が、高画質の映像配信技術として、1月31日放送のテレビ東京系列報道番組「ワールドビジネスサテライト」の特集企画において紹介されました。

【発表の概要】

S k e e dの開発した多拠点・多店舗配信ソリューション SkeedDelivery™は、P2P アーキテクチャ（※1）により、配信先である拠点・店舗側のサーバを他の拠点・店舗への配信にも利用することで、回線やサーバの増強コストを抑制すると同時に、高速配信を可能にしたソフトウェア製品です。これにより多拠点・多店舗に向けた大容量データの一齐配信を安価に素早く行うことができます。また、各拠点・店舗毎の配信状況の確認や配信先の急な追加、何らかの障害で回線が不通となっても復旧後に自動再開するレジューム機能などスマートな運用環境を実現します。

この度、テレビ東京系列報道番組「ワールドビジネスサテライト」の特集コーナー「サクサク快適に 大容量時代の新『送る技術』」内では、既に導入されているビックカメラ新宿ビックロ店内でのデジタルサイネージの状況を中心に

- ・高画質の映像配信を専用線を引くことなく社内LANで実現
- ・大容量化するデータ通信 デジタル看板 安く提供
- ・専用線を引くのには比べ年間数千万円節約

といった解説とともに紹介されました。

S k e e dでは今後とも、SkeedDelivery™をはじめとする製品の機能拡張、更に技術革新を進め、“大容量時代の「送る技術」”を追求して参ります。

（※1） P2Pアーキテクチャ：多数の端末間で通信を行う際のアーキテクチャのひとつで、対等の者（ピア）同士が通信をすることを特徴とする通信方式

【番組報道の内容について】

報道番組は以下のテレビ東京様のWebサイトから再視聴可能です。

※紹介部分は動画（全8分間）の4分11秒から6分11秒となります。

テレビ東京WBSWebサイト：http://www.tv-tokyo.co.jp/mv/wbs/news1/post_34488/

【SkeedDelivery™について】

SkeedDelivery™は動画や画像、図版など大容量ファイルを多拠点・多店舗に向けてスピーディ且つ容易に操作制御しながら高速配信するPush型の多段転送・マルチパス配信ソリューションです。

・SkeedDelivery™製品Webサイト：<http://www.skeed.co.jp/tech/skeeddelivery/index.html>

■ 株式会社Skeedについて：<http://www.skeed.co.jp/>

Skeedは2005年設立以来、Winny開発者の金子勇氏のリーダーシップのもと、分散コンピューティング分野における卓越したノウハウ・技術力を生かし、独自アーキテクチャによる安全・確実かつ高速な通信基盤技術開発で市場を牽引しています。クラウドコンピューティング、ビッグデータ時代のデータ通信の大容量化・ユビキタス化・グローバル化といったニーズを先取りし効率と信頼性に優れたファイル配信・保管実現、また大容量・長距離でのセキュアなデータ転送基盤の実現、急速に拡大するクラウドコンピューティング市場に対して代替不可能な価値を提供します。

<本件に関する報道関係のお問い合わせ先>

株式会社 Skeed 営業マーケティング部 担当：松岡

TEL：03-5487-1032 FAX：03-5487-1037 E-mail：t-matsuoka@skeed.co.jp